



# まつざき淑子の議会報告

<http://matsuzakiyoshiko.seikatsusha.me/> mail [komanet.seikatusya@nifty.com](mailto:komanet.seikatusya@nifty.com)

## 令和5年第1回定例会 【一般質問】

### 1.子どもの成長支援について

#### ・保育士配置基準を見直そう

国基準では1歳児6人に1人の保育士配置を狛江市は5人に1人としていることは評価できるが、2歳児以上は国と同じ基準で保育士の負担が多い。国は基準見直しを行う方向だが、市の検討を要望。後日「保育士配置基準の引き上げ」について狛江市議会の意見書を提出し国に求めることが決定!!

#### ・狛江の子どもの体力が心配



公立校は体力調査を毎年行なっている。1985年をピークに体力は下がり、低い値で推移。学校外でも子どもたちが走りまわれ、ボール遊びができるような公園・広場の必要性を訴えました。

### 2.交通不便を早急になんとかしなくては!

東野川地域は、バスの減便、廃便が続き交通不便がさらに進んでいます。こまバスは赤字を市が負担していることから、ルートや時刻の変更を要望することを訴えました。市はそれを含め、ゴルフ場にあるような電動カートや予約制のデマンド交通など、早急な対応を検討すると答弁。



(イメージ)

【その他の議案】条例改正 22件+同意1件 (全可決)、5件の陳情、2件の議員提出意見書、1件の動議

#### ☺市民参加と市民協働条例の改正

市民協働の対象に「市民」と「事業者」を加える←利益誘導などが懸念される反対意見があったが、ネットは市民活動の停滞打破と評価による対応を求め、賛成。

☑都のパートナーシップ制度導入対応←市職員の育児休暇、高齢者住宅入居の条件にパートナーも加える。狛江市独自のパートナー制度の検討は今後の課題。

☹陳情 「給食の無償化」、「多摩川住宅建替え仮住まいを水道局住宅に」ネットは賛成したが、否決。

一般会計予算 総額 316億2,000万円、過去2番目の予算規模。基金(市の貯金)増、市債(借金)減で、安定した財政状況の評価しました。生活者ネットは是々非々で、市民の声をもとに提案・要望しています。今予算では以下を要望し、原案に賛成しました。

子育て政策予算として、市独自で出産祝金2万円の追加、市立小中学校在籍第3子以降の給食費無償化、保育園や学校への医療的ケア児受け入れなど。事業の内容や人件費についても市の責任を持った管理指導を求めました。

2050ゼロカーボンシティ宣言推進に向けては、3億円の予算規模で4月から始まるプラスチックごみリサイクルの分別収集や、茅野市とのカーボンオフセット連携、全公共施設の再生可能エネルギー導入などで、市民の脱炭素行動を広める政策を要望し、仮称駒井町公園のように、国や都の補助金と市の基金を活用した緑地保全の積極的な推進を求めました。

臨時財政対策債は標準的な市民のサービスを守るためのもので、国からの返却が確認できていますが、今を生きている子どもと市民のサービスに地域格差や不足が生じないように、活用の検討も提案しました。

個人の問題が複雑・重層化している現社会では、市民力を活用し、ともに狛江市の市民サービスを作り上げていくために、財政支援と、相談・意見交換の場の支援は必須です。補助金活用は有意義ですが、学校生活の支援員導入や子どもの居場所など、必要とされる事業は、独自で予算をつけても推進していくべきと訴えました。